

比較舞踊学会 第31回大会報告

期 日 2021年10月16日（土）
テーマ 伝承と形象
会 場 東京立正短期大学（オンライン開催）
主 催 比較舞踊学会

《一般研究発表Ⅰ》

座長：波照間永子（明治大学）

1. スペイン喜歌劇“Zaruzuela（サルスエラ）”の挑戦と可能性について
—日本サルスエラ協会の題材を中心に—

萩山幸子（武蔵野美術大学）

2. モンゴル国民族舞踊ビー・ビルゲーの研究 —エスニック集団の踊りの現在に着目して—

井上邦子（奈良教育大学）

3. 民族舞踊の導入による新体操の芸術性：

—《世界新体操選手権大会ブルガリア団体クラブ優勝作品》の構成—

山本里佳（明治大学大学院 情報コミュニケーション研究科/国士舘大学）

《一般研究発表Ⅱ》

座長：澤田美砂子（日本女子大学）

4. ソマティックムーブメントの視点から見るピラティス —実践指導者の立場から—

磯部桂（ISMETA 国際ソマティックムーブメントエジュケーション&セラピー協会）

5. 身体表現系アーティストがハイブリッド型の手法を用いてメソッドを実践・普及する方法

中西みなみ（早稲田大学スポーツ科学研究センター）

6. ダンストレーニングは柔道選手にとって有用か

小林咲里亜（帝京科学大学）

7. 保育者養成校における「身体表現」の教育内容に関する研究

—保育学生の「身体表現」イメージの分析から—

川瀬雅（環太平洋大学次世代教育学部こども発達学科）

《特別講演》

司会：森田ゆい（東京立正短期大学）

宗教儀礼と身体づかい

北川前肇（東京立正短期大学 学長）



当日のオンライン開催の様子

《一般研究発表Ⅲ》

座長：佐々木玲子（慶應義塾大学）

8. 小・中学校における歌舞伎体験授業の教育的効果の比較

佐藤節子（宮城教育大学）

9. 学校教育における沖縄の踊り —沖縄県高等学校郷土芸能大会から—

樋口美和子（沖縄県立芸術大学芸術文化研究所）

10. 中国の学校体育における体操類ダンス授業の現状

—山東省濱州市濱城区の中学校を対象とした実態調査から—

李丁姿漪（順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科）

《特別講演報告》

第31回大会実行委員長 森田ゆい

大会テーマ「伝承と形象」に寄せて、東京立正短期大学学長の北川前肇先生に特別講演「宗教儀礼と身体づかい」をいただいた。講演は、1. ゴータマ・ブッダ（釈尊・釈迦牟尼仏）の誕生、2. 大乘仏教の興隆、3. 法華経にみる仏の超越性、4. 日蓮宗における法要儀礼—いのりの儀式—という内容で、仏教の起こりから一宗派の日蓮宗における法要儀礼までを多くの貴重な写真資料を提示しながらお話いただいた。講演に続いて実際の法要儀礼の様子、指導の際の様子を収録した映像をご覧頂き、最後に30分の質疑応答が行われた。後日参加者から充実した特別講演であったとのコメントがいくつも寄せられた。

本報告では、法要儀礼の様子の映像より指導の様子や日蓮宗に特有の楽器の扱い、北川先生の身体づかいの様子の一部を報告させていただく。

1. 指導の様子



【合掌】肩が自然な状態の位置を保ちながら両手を合わせる。何時間でも保持できる位置。
視線は斜め下を見る。



【五体投地】額・両肘・両膝を地面に付けて両掌を上に向け、仏様のおみ足をいただく



【献香】 香を頂き、さし上げ、手のひらを下に向けて香炉に落とす

2. 日蓮宗に特有の楽器の扱い



によろばち
【鏡 鉞】 日蓮宗にのみ回転させて音を出す使い方がある

3. 法要の身体づかい（当日ご覧いただいた改良着での撮影映像より）

